



駿台甲府の歴史

駿台予備学校を中心に幼稚園から小中高等学校、専門学校、大学・大学院を持つ総合的な教育機関へと発展した駿台グループは、山崎寿春が1918年(大正7年)に東京・神田錦町に創設した「東京高等受験講習会」を起源としています。山崎寿春が提唱した「愛情教育」は、100年を経た現在においても駿台グループ共通の教育理念として、全活動の基盤となっています。そして、この理念を受け継いだ山崎春之(駿河台学園第2代理事長)が、ちょうど共通一次試験(大学入試センター試験の前身)が始まった1979年(昭和54年)に、山梨県甲府の地に駿河台学園の姉妹法人として駿台甲府学園を発足させました。

その翌年の1980年(昭和55年)4月、駿台甲府高等学校を開校、その後、駿台甲府中学校、駿台甲府小学校と順次開校し、山梨県初の小中高一貫教育機関として発展し、学校教育に貢献しています。

愛情教育

全駿台に共通した教育理念です。駿台甲府の教員は根本に愛情教育という意識を持って生徒と向き合います。すべての教育活動はこの理念に則って行われ、生徒一人ひとりに対し、細かな生活指導や進路指導がなされます。駿台のルーツの言葉を紐解くと、「我学会の弊風たる詰込み主義を排し、専ら基本原理の了解に努め、之が運用の限妙を授け、以て推理及判断力の涵養増進を期す(私たち日本の教育界の悪しき風潮となっている、詰め込み主義をなくし、何よりもまず、ものごとの根本法則をしっかりと理解することに努め、その道理に基づいて思考し、行動することの深さや精密さを生徒に授け、そのことによって、推理することや判断力を養い育てていくことを生徒自身が増進するように期待する)」という言葉があります。その理念を引き継ぐ駿台甲府の授業は、テクニックに走らず基礎基本学習を大事にします。

チャレンジング・スピリット

駿台甲府の建学の精神です。過去に例のない道を、自らの判断と力で開拓していこうというフロンティア精神を、生徒諸君に持ち続けて欲しいという創設者山崎春之先生の願いが込められています。

駿台甲府の生徒は「勉強に打ち込み、目標とする大学に入りたい」「部活動で精進して自分を磨きたい」など多様な希望を抱いて生活をしています。その生徒たちに、「高い目標を掲げて努力を重ね、初志を最後まで貫いてもらいたい」という気持ちが込められています。



所在地 〒400-0026 甲府市塩部二丁目8番1号(普通科)

〒400-0845 甲府市上今井町1279-2(美術デザイン科)

電話 055-253-6211(普通科) 055-241-5311(美術デザイン科)

FAX 055-252-5395(普通科) 055-241-8304(美術デザイン科)

URL <https://www.sundai-kofu.ed.jp/>

E-mail info@sundai-kofu.ed.jp

創立 昭和55年4月1日

課程 全日制・通信制

利用交通機関

● 塩部キャンパス(普通科)

甲府駅から徒歩15分 甲府昭和ICより車で20分

● 今井キャンパス(美術デザイン科・通信制課程)

甲斐住吉駅から徒歩15分 甲府南ICより車で10分

教員数 85名

生徒数 1066名(全日制)



全日制	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	187	118	192	110	179	118
美術デザイン科	10	49	12	41	8	42

設置学科

普通科(全日制)

●普通科(全日制)の目的と内容

普通科においては、生徒一人ひとりの進路実現に向けて、志望に応じたコース・カリキュラムを用意しています。加えて、生徒の適性に応じた能力の伸長を図るため、習熟度別編成を行い、計画的な指導を通してその達成に努めます。

●習熟度別学級編成

すべての生徒が習熟度に応じて、その能力を最大限に発揮し、各自の進路を的確に切り拓いていくことを主目標に、習熟度別指導を行っています。本校では全国各地から入学生を迎えているため、高校入学までの学習背景の違いが大きく、教科別にみた生徒の学力の多様化は無視できないものがあります。また、生徒の将来の進路に対する志向もさまざまであり、画一的なカリキュラムや学力差を無視した一斉授業は、授業効率、学習効果の面で、合理的なものとはいえません。そこで、本校では独自の習熟度別学級編成を取り入れ、進路に応じたきめ細かな指導を行います。



●アスリートコース

本質を学ぶ基本姿勢は変わりませんが、このコースでは勉強とスポーツの共存という考えに基づき、体育活動を充実させながら基礎学力の徹底を図り、本来の能力を最大限に伸長させる教育課程を行います。大学進学についても各自の能力、志望に応じた効果的なカリキュラムを組んでいます。



美術デザイン科(全日制)

●美術デザイン科(全日制)の目的と内容

美術デザイン科では美術大学・短大への進学のため、有効なカリキュラムを編成しています。より多くの美術体験ときめ細かな指導、デジタルデザインの体験を通して、幅広く能力を高め、自己の目標に向かい努力し、将来を切り拓いていく人材の育成を目指します。

●学習のステップ

1 年次は、さまざまな材料体験を通じ、基本的な技術、考え方を学びます。2 年次は、1年の学習をさらに深めるとともに、適性に応じて絵画系やデザイン系のコースなどに分かれて学習します。進路に応じたコースを選択し学習します。油絵、日本画、グラフィックデザイン、工業デザイン等、志望大学に応じ、きめ細かな個別指導も行います。3 年次は、進路に応じたコースを選択し学習します。油絵、日本画、グラフィックデザイン、工業デザイン等、志望大学に応じ、きめ細かな個別指導も行います。



普通科(通信制課程)

●通信制課程専任教員による丁寧なサポート

規定修業年限で卒業できるよう担任が親身に学習面や生活面の相談に応じますので、安心して学ぶことができます。

(卒業条件)

74 単位以上修得+合計三年間(36 カ月)以上在籍+特別活動 30 時間以上出席

※前籍校の修得単位および在籍期間を合算できます

●自分に合わせた学習を可能にする ICT 学習ツール

駿台予備学校の最先端 ICT 学習ツールを活用することで、各科目の実力アップから大学入試対策まで、自分のペースで目的に応じた学習ができます。

●駿台グループによる進学に向けた万全なサポート

大学・専門学校への進学など、一人ひとりの希望進路達成に向けて、最新の情報提供、大学入試対策、推薦入試対策など、サポート体制が充実しています。